
おもいこめば叶うのだから。

TOMMY。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おもいこめば叶うのだから。

【Nコード】

N9690H

【作者名】

TOMMY。

【あらすじ】

想像してみようイマジン。いや、違う。思いこんでみよう。私はかわいい。僕はカッコいい。それで人生、成功してる奴がいるんだから

叶う1

今現状に物足りなく感じるなら、想像すればいい。こうなりたい。
あぁなりたい。

わたしはするよ、
だっておmoiこめば叶うのだから。

ぶっさいくな女の話。私はその女を初めて見た時、3度見してしまった。その女の名前は 佳代子。

どう表していいのやら。

とにかく彼女はぶっさいくだ。ちびデブめがね（^0|0^）の3本柱。おまけにくせ毛。おまけに糸目なのだ。お世辞にも

「肌白くていいね！」が限界である。

しかし彼女は自信に満ちあふれているオーラを解き放っていた。私だけが感じていたわけではない。当時、私の友人達も初対面の時このオーラを感じたらしい。

「私をみて！」

「私かわいい！」

「私はすごいの！」

「私最高！フォー！！！！」

といった具合なのだ。

私は彼女の自信の根源を探るべく。声をかけたのだ…。

佳代子に話しかけた時

そうだ、私は中学生だった。

マセガキが集う兵庫県の端くれにある某中学校。

中学生になる前

私は姉の助言により

眉毛を細くした。

髪は元々 赤茶だったから染めずに ウルフにした。

爪を綺麗に伸ばし 黒をペタペタ塗りたくった

あとは…

ピアスを3つ開けた

姉は言った

「初っ端から飛ばしていけえ！キャハハ」

私は姉が大好きだったので、キャハハと馬鹿笑いする上機嫌な姉を見て 私自信もテンションがあがり 入学式が待ち遠しくなった。

馬鹿な馬鹿な中学校生活の始まりである。

嫌いな季節春、入学式

「とんちゃん、とんちゃん！

私のことを とんちゃんと呼ぶ同級生A。…名前なんだったかな。
…確かめちゃめちゃ可愛い名前の子だった！

…舞羽でマウ！そう、マウちゃん。

低血圧な私の朝のテンションは糞だ。それでもマウちゃんはニコニコニコニコお喋りが止まらない。

「同じクラスでよかった!」だの

「とんちゃん、爪かわいいな!」だの

あーうざいうざい。はやく帰って寝転びたい。

「そこ!うるさいよ!」

あーらら、初っ端から担任の前で注意されるし。

名前も顔もろくに知らん奴らからの視線が更に私を怠くさせる。

「ばりうざいな!」

顔を赤くしながら虫けらがなく様な声でマウちゃんは まだ私に喋りかける。

：マウちゃんもウザいのだが、もう1つ。なんやなんや。斜め後ろからの視線…。

：　そう、おまちなね
ぶっさいく佳代子の視線だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9690h/>

おもいこめば叶うのだから。

2010年10月23日14時02分発行